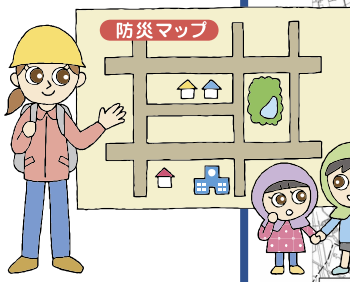
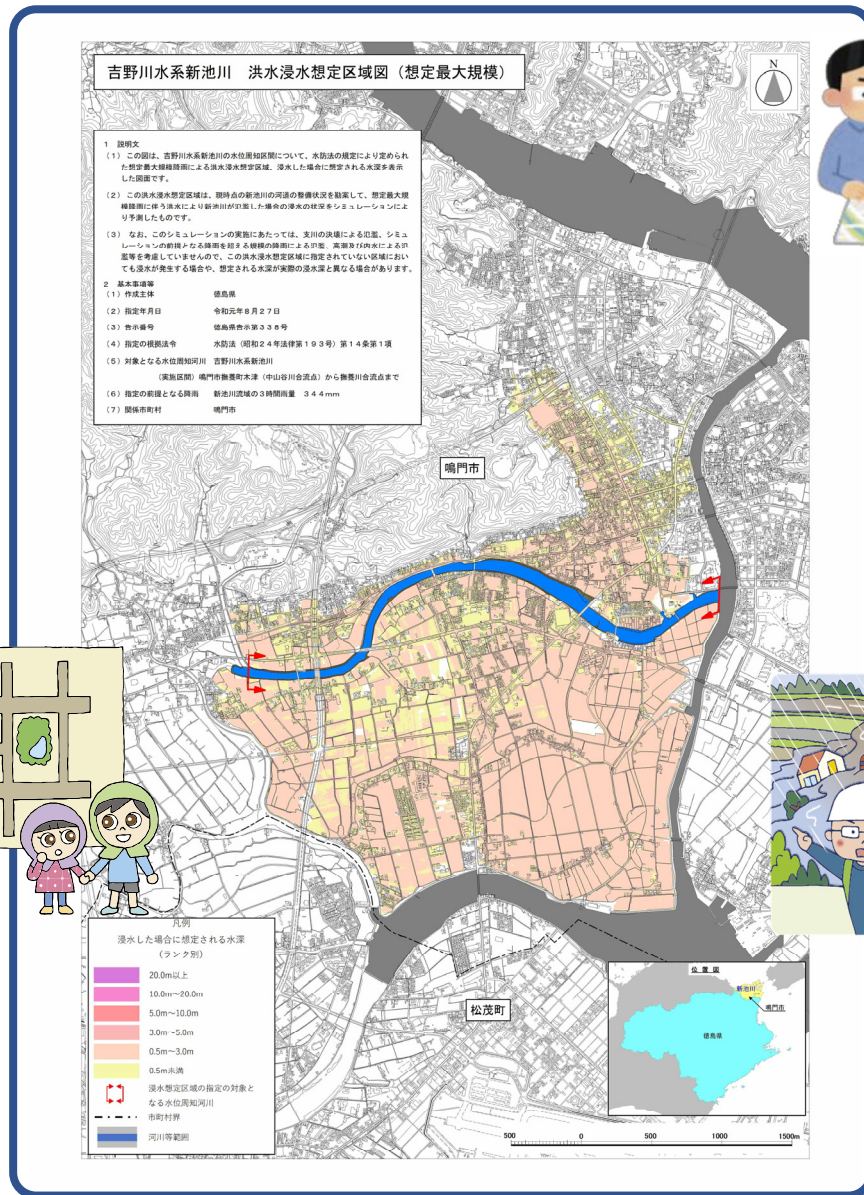


ファミリータイムラインを 作ろう！



■ファミリータイムラインとは

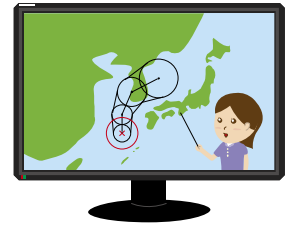
近年、激しい台風や大雨によって、全国各地で大規模な洪水被害が発生しています。

台風や大雨は、テレビやインターネットなどから得る気象予報や注意情報などで、事前に状況を知ることができます。

これらの情報をもとに、洪水が発生する前に、早めに避難することができれば、あなたやあなたの家族の大切な命を守ることもつながります。

「ファミリータイムライン」は、洪水などの災害が起きたとき、あなたやあなたの家族が、安全に避難するための「家族の避難計画」です。

いざというとき、あせらず安全に避難できるよう、いつ、どこへ、どうやって避難するか、家族みんなで話し合いながら、「ファミリータイムライン」を作ってみましょう。



ファミリータイムライン

アクションシール

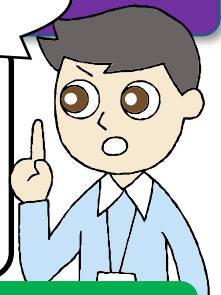
もくじ

ページ

- 避難情報と河川の水位情報について..... 1
- 河川の水位と警戒レベル相当を確認しましょう..... 2
- 近くの河川の水害リスクを確認しましょう..... 3
- いつ避難するか、避難のタイミングを考えましょう..... 5
- 安全に避難できる避難場所・避難方法を確認しましょう..... 6
- ファミリータイムラインを作りましょう..... 9
- 防災情報を入手しましょう..... 10

■ 避難情報と河川の水位情報について

ファミリータイムラインを作るまえに知っておこう！



「ファミリータイムライン」を作る前に、災害の状況や避難を判断するための情報として、どのようなものがあるか知っておきましょう。

災害の状況によって、市町村から**避難情報**が発令されます。洪水による災害の場合、主な河川ごとに、それぞれの警戒レベルに相当する**水位到達情報**が、国または県から発表されます。警戒レベルの段階にそって、「あなたがとるべき行動」は何か確認しておきましょう。

| 避難情報 (警戒レベル) | | | | 河川の水位や防災気象情報 (警戒レベル相当情報) | | |
|--------------------------|--------------|--------------------|--------|--------------------------|--------|----------|
| 警戒レベル | 状況 | あなたがとるべき行動 | 避難情報 | 警戒レベル相当 | 水位到達情報 | 防災気象情報 |
| 5 | 災害発生又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保！ | 緊急安全確保 | 5相当 | 氾濫発生 | 大雨特別警報 |
| ~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~ | | | | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から 全員避難 | 避難指示 | 4相当 | 氾濫危険水位 | — |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から 高齢者等は避難 | 高齢者等避難 | 3相当 | 避難判断水位 | 大雨・洪水警報 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を 確認 | — | 2相当 | 氾濫注意水位 | 大雨・洪水注意報 |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを 高める | — | 1相当 | — | 早期注意情報 |

避難情報が発令されたときは、必ず**警戒レベル3**又は**警戒レベル4**の段階で避難しましょう。

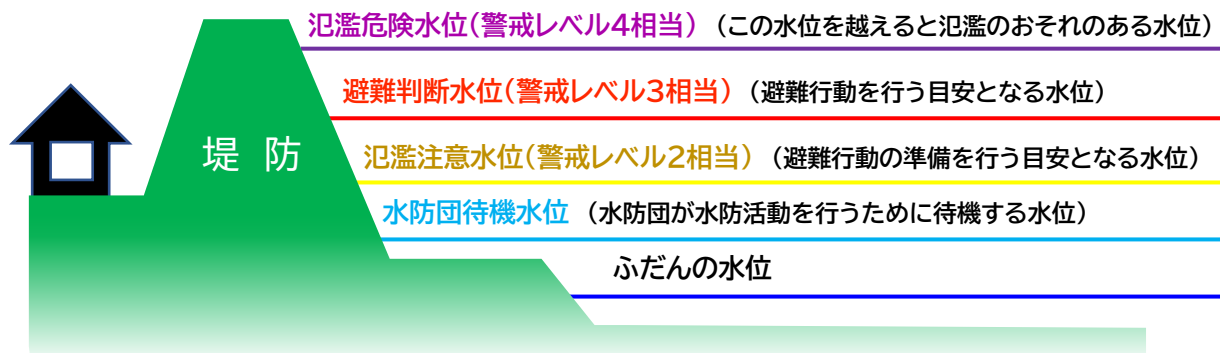
洪水のおそれがある場合は、河川の水位や防災気象情報を参考に、自らの判断で早めに避難しましょう。

市町村長は、河川の水位や防災気象情報のほか、土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報の発令を判断します。このため**警戒レベル**と**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

水位到達情報の発表基準となる河川水位

主な河川では、**水位到達情報の発表基準となる水位**（水防団待機水位、氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位）を設定しています。

これらの水位に達したとき、それぞれの段階に応じて、**水位到達情報**が発表されます。



■河川の水位と警戒レベル相当を確認しましょう

災害の状況や避難を判断する情報を理解できたら、あなたの周りにある河川の基準水位※を確認しましょう。どのくらいの水位になったとき、注意が必要か、避難する必要があるのか確認しておきましょう。
 ※基準水位…基準水位観測所ごとに、災害発生の危険度に応じ設定した水位

新池川の基準水位

| 河川名 | 基準水位観測所 | 地先名 | 基準水位 | | | | 対象水防管理団体名 |
|-----|---------|--------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | | 水防団待機水位(m) | 氾濫注意水位(m) | 避難判断水位(m) | 氾濫危険水位(m) | |
| 新池川 | 吉永 | 鳴門市 大津町吉永 | 1.0 | 警戒レベル2相当 | 警戒レベル3相当 | 警戒レベル4相当 | 鳴門市 |

新池川の現在の水位を確認しましょう

1 「徳島県 水防情報」から「河川水位情報」を選択してください。

2 画面上に△の水位局(水位観測所)が示されるので、知りたい水位局にカーソルを合わせてください。

3 現在の水位や、その水位局での基準水位が示されます。

4 基準水位ごとに、警戒レベル相当が示されています。水位情報を参考に避難行動をとりましょう。

徳島県水防情報

河川水位情報をクリック

△印にカーソルを合わせると、基準水位や現在の水位などが表示されます

| 水位局名 | |
|---------|-----------|
| 00川 | |
| 日時 | 00/00/00 |
| 河川水位 | → -0.5[m] |
| 氾濫危険水位 | 00.0[m] |
| 避難判断水位 | 00.0[m] |
| 氾濫注意水位 | 00.0[m] |
| 水防団待機水位 | 00.0[m] |

現在の水位→
 警戒レベル4相当→
 警戒レベル3相当→
 警戒レベル2相当→

「徳島県水防情報」は河川水位のほか、雨量情報、ダム情報、気象警報・注意報、洪水予報、氾濫警戒情報、水防警報、ライブカメラ映像などが1つのサイトにまとまっています。日頃から、これらの情報を確認しておきましょう。洪水などで避難するときの判断に役立てることができます。

※警戒レベル 5 相当はすでに氾濫が発生しているか、切迫している状態

■近くの河川の水害リスクを確認しましょう

近くの河川で、もし、洪水が起きたら・・・

「水害リスク」とは、もし河川が氾濫※1したとき、周辺の地域で、**どこまで水が来て、どのくらいの深さまで水に浸かるか**など、その危険性（リスク）を示したものです。

県のWebサイトなどから、あなたの住んでいる地域の「水害リスク」を確認しましょう。

※1 氾濫（はんらん）：河川から水があふれ出すこと。

【確認方法】

1

「徳島県 水防・砂防情報マップ」を検索し、「水害リスクマップ」を選択してください。

2

「洪水浸水想定区域」にチェックを入れると、河川が氾濫したときに水に浸かる区域が着色されます。
地図を拡大し、水害リスクを知りたい地域をクリックしてください。

3

知りたい地域の「対象河川(どの川の氾濫により被害を受けるか)」が表示されます。

4

河川名が複数表示される場合は、知りたい河川の方を選択してください。※2

5

表示の色分けについては「凡例」の「▼開く」をクリックしてください。

徳島県水防・砂防情報マップ

検索



徳島県水防・砂防情報マップ

おすすめ防災情報マップから自然災害リスクを知る

- 水害・土砂災害リスクマップ
- 水害リスクマップ**
- 土砂災害リスクマップ
- 砂防三法マップ

スマートフォン版

https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/sp/

▼レイヤ透過率 40%

▼情報表示

●選択情報一覧

| 種別 | 名称 |
|--------|-----|
| 洪水浸水想定 | 〇〇川 |
| 洪水浸水想定 | △△川 |

※「洪水浸水想定区域」は河川ごとに示されており、複数の河川の浸水想定区域が重なって表示されている場合もあります。知りたい河川の方を選択してください。

▼凡例

- 洪水浸水想定区域
 - 想定最大規模
 - 計画規模
 - 浸水継続時間
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域
 - 家屋倒壊等河岸浸食想定区域
- 高潮浸水想定区域
- 要配慮者利用施設
- 避難所

▼凡例

- 洪水浸水想定区域
 - 想定最大規模

| | | |
|-------|----------|------|
| 20.0- | 5.0-10.0 | -0.5 |
| 10.0- | 3.0-5.0 | (m) |
| 20.0 | 0.5-3 | |

浸水の目安

※2 避難行動を考える際は、表示されているすべての河川の水害リスクを確認する必要があります。

河川の洪水浸水想定区域図の種類

「水害リスク」といってもその種類の内容は様々です。市町村のハザードマップでも確認できますが、徳島県が公表している、県が管理する主な河川の「洪水浸水想定区域」でも確認できます。

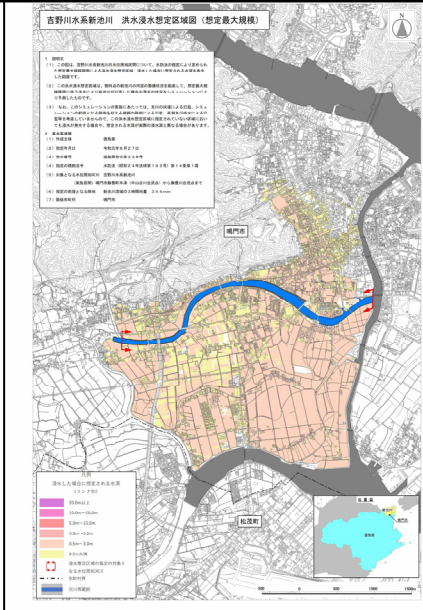
「洪水浸水想定区域」は、洪水になったときに浸水※する深さや、浸水から水が引くまでの時間のほか、水の流れによって家屋が流されたり倒れたりする危険性の高い場所などを示しています。

※ 浸水（しんすい）：洪水によって水に浸（つ）かること

徳島県 河川の洪水浸水想定区域図

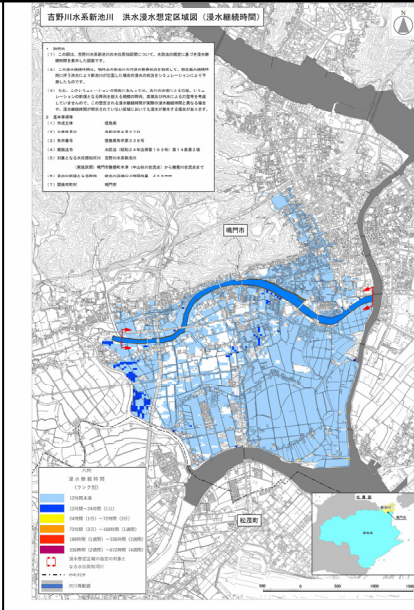
検索

①洪水浸水想定区域 想定最大規模



- ・ 浸水が想定される区域を着色しています。
- ・ 浸水したときの水の深さを色で区分しています。

②洪水浸水想定区域 浸水継続時間



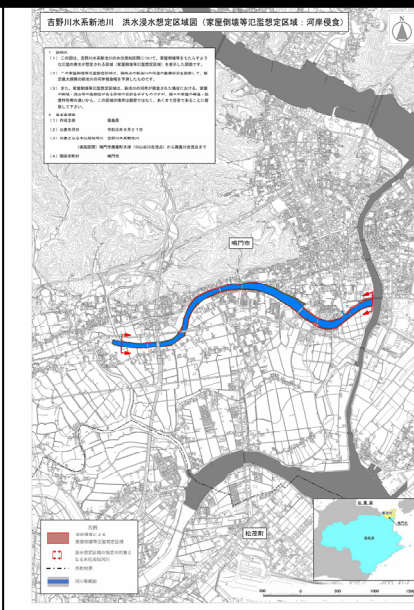
- ・ 浸水している時間を色で区分しています。
- ・ 浸水している時間が長いと、電気や水道などライフラインが絶たれたり、食糧や水、薬などの補給ができず、避難生活ができなくなります。

③洪水浸水想定区域 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）



- ・ 洪水のときに、水の流れが速く、木造の家屋などが倒壊・流出するおそれがある区域を示しています。

④洪水浸水想定区域 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）



- ・ 建物の基礎を支える地盤が洪水による侵食を受け、家屋が倒壊・流出するおそれがある区域を示しています。

【注意！】

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流／河岸侵食）の中に建物が含まれる場合は、水平避難（水に浸からない場所へ避難）が原則です。

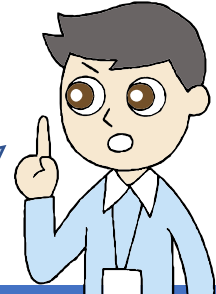
■いつ避難するか、避難のタイミングを考えましょう

あわてず、
早めの避難
を！

身の回りの「水害リスク」がわかったら、次に、いつ、どのようにして避難しますか？
洪水ハザードマップといっしょに、「避難行動判定フロー」を参考に、避難するまでの行動を確認しましょう。

ふだん
から確認！

「自分の命は自分で守る」意識を持ちましょう。
災害のとき、あなたや家族が、やるべき
ことを確認しておきましょう。



避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

洪水ハザードマップであなたの家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に浸水の色が塗られていますか？

いいえ

はい

洪水による災害の危険があるので、原則として、**立退き避難**(自宅の外に避難)が必要です。

例外

あなたや一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3「高齢者等避難」が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3「高齢者等避難」が出たら、市町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

必ず取り組みましょう

※洪水ハザードマップは浸水するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも浸水する可能性があります。

浸水の色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や河川に近いところに住んでいる方は、市町村からの避難情報を参考に、状況に応じて避難してください。

洪水の危険があっても
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域から外れている
②浸水する深さよりも高いところに住んでいる
③浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの貯えが十分にある
場合は**屋内安全確保**(自宅に留まり安全を確保すること)も可能です。

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

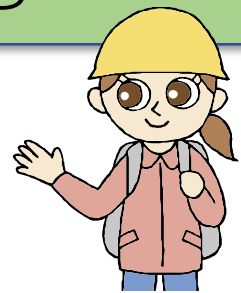
いいえ

警戒レベル4「避難指示」が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4「避難指示」が出たら、市町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

■安全に避難できる避難場所・避難方法を確認しましょう

次に、具体的にどこに、どのようにして避難しますか？
もし、逃げ遅れたりした場合、どうしますか？
避難場所や避難するときの経路（ルート）をみんなで確認しましょう。



●避難場所や避難経路を確認しましょう。

- 家族全員で、避難場所や避難経路を事前に確認しておきましょう。
- 避難場所や避難経路は1つに限定せず、状況に応じて変更できるように、**複数の避難場所、避難経路を確認**しておきましょう。
- 近くの避難場所を「徳島県水防・砂防情報マップ」で調べておきましょう。

徳島県水防・砂防情報マップ 検索

1 「徳島県 水防・砂防情報マップ」から「水害リスクマップ」を選択してください。

2 凡例の「避難所」に☑をしてください。「避難所」の位置が表示されます。

3 知りたい「避難所」をチェックすると施設名などの情報が表示されます。

4 あなたの家から避難する施設までの経路を確認しましょう。途中で、危険な場所がないか、事前に確認しておきましょう。



赤枠は重複する洪水浸水区域から「新池川」を選択し浸水範囲（一部）を表示したものです。

指定避難所のマーク をクリック

| ▼情報表示 | |
|----------|-----------------------------|
| ● 選択情報一覧 | |
| 種別 | 名称 |
| 避難所 | 鳴門渦潮高等学校 撫養グラウンド (クラブハウス2階) |
| 洪水浸水想定 | 吉野川 |
| 洪水浸水想定 | 新池川 |
| ● 選択情報 | |
| 項目 | 内容 |
| 施設名 | 鳴門渦潮高等学校 撫養グラウンド (クラブハウス2階) |
| 市町村 | 鳴門市 |
| 住所 | 撫養町南浜字馬目木 5 8 |
| 連絡先 | 088-685-1107 |
| 分類 | 指定避難所 |
| 法指定 | 指定避難所 |
| 種別 | 津波、高潮、洪水、内水氾濫、土砂災害、地震 |
| 備考 | 指定避難所 |

指定緊急避難場所

避難しなければならなくなったとき、まずは急いで避難する場所です。

指定避難所

避難した人が、災害の危険性がなくなるまで、または、自宅へ戻れなくなった場合に一時的に滞在する施設です。

※両方の条件に対応できる避難場所もあります。

避難場所はすべての災害に対応できるわけではありません。必ず、「洪水」に対応していることを確認してください。

●立退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）

- 避難するとき、まずは、洪水被害の影響がない（水に浸からない）ところまで避難する「**立退き避難**」（水平避難）が原則です。
- 一方、避難する時間がなかったり、避難途中で災害に巻き込まれるおそれがある場合は、自宅や近くの頑丈な建物で、**浸水しない安全な高い場所へ避難**（垂直避難）しましょう。
垂直避難の場合、浸水が長引いたり、電気や水道などライフラインの復旧に時間がかかるおそれがあるため、食糧など防災グッズを準備しておきましょう。
- 災害が発生したときは、急激に状況が悪くなる場合もあります。水平避難か垂直避難か、どちらがより安全に避難ができるのか、**早め早めの判断**を行い、**安全な避難行動**を取るようにしましょう。



避難行動のヒント

それぞれの警戒レベルになったとき、あなたはどのような行動（アクション）を取りますか？
日頃の取り組みや、災害のときの様々なフェーズ（段階）の場面で、あなたが取るべき行動を考えてみましょう。



アクションシール

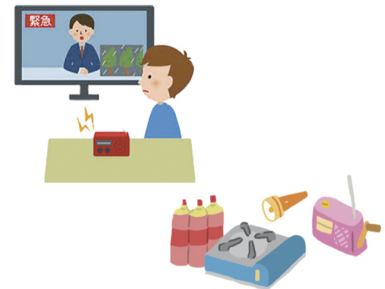
○平常時は 【事前の備え】

- 日頃から、防災に対する意識を持つておく必要があります。
- 洪水などの災害に備えて、あなたはどんな準備をしておきますか？食料や水など防災用品を準備したり、どこに避難するかなどを日頃から、家族みんなで話し合っておきましょう。
- ハザードマップを見て、身の回りでどんな災害が起きやすいか、確認しておきましょう。



○警戒レベル1になったら 【災害への心構えを高める】

- 台風の接近や大雨の予報などがあったら、災害に備えた準備をはじめましょう。
- テレビやインターネットなどで気象情報を確認したり、防災用品や貴重品の持ち出し袋などを確認しておきましょう。
- 万一のことも考え、病院で薬をもらっておいたり、家のまわりで飛ばされやすいものを片づけたりしておきましょう。
- 水道や電気などライフラインが途切れるかもしれません。飲み水を確保したり、停電のときに必要なもの（ライト、ラジオ、カセットコンロ等）もそろえておきましょう。



○警戒レベル2になったら 【自らの避難行動を確認する】

- 台風が近づき雨や風の影響がはじめたら、避難する準備をはじめましょう。
- 避難情報が発令されるのを待つだけでなく、テレビやインターネットなどを利用して、近くの川の水位や雨量を確認するなど、積極的に情報を集めましょう。
- 歩いて避難する場合は、雨具やライフジャケットの他、水の深さを探るための長い棒も用意しておきましょう。
- 携帯電話の充電もしておきましょう。



○警戒レベル3（高齢者等避難）になったら

【危険な場所から高齢者等は避難】

- 高齢者や子供など、避難するとき他の人から支援が必要な人がいる場合は、避難に時間がかかります。直ちに避難を開始しましょう。
- 車で避難する場合は、早めに安全に避難しましょう。水に浸かって通れない場所があるかもしれません。通行止め情報などを確認してから避難しましょう。



—つづく—

○警戒レベル4（避難指示）になったら

【危険な場所から全員避難】

- 全員避難をはじめましょう。
- 過去に洪水被害があった区域など危険な場所からは、出来るだけ離れたところへ避難しましょう。
- ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落としておきましょう。施錠して安全に避難しましょう。



○警戒レベル5（緊急安全確保）になったら

【命の危険 直ちに安全確保！】

- 洪水氾濫など、すでにどこかで災害が起きている状況です。直ちに命を守る行動を取ってください。避難が遅れた場合は、可能な限り、高台や近くの丈夫な建物などの安全な場所に避難しましょう。



やってはいけない危険な行為

×長靴をはいて避難する

- 長靴は、中に水が入ると重くなって歩きにくくなったり、動きがとれなくなる場合があります。できるだけ運動靴など歩きやすい靴をはいて避難するようにしましょう。



×浸水発生後、車に乗って避難する

- アンダーパスなど水に浸かっているところを、無理やり車で通過しようとすると、途中で車が止まり身動きが取れなくなります。車で避難するときは、十分に注意し安全なルートを選ぶようにしましょう。



×川を見に行行って水位を確認する

- 水の流れが強かったり、深みにはまってしまうと簡単に流されてしまう危険性があります。決して、川の様子を見に行かないようにしましょう。



×近道なので川沿いや地下道を通って避難所へいく

- 河川の状況や浸水している状況は、刻一刻と目まぐるしく変化します。
- 大丈夫と思っていても、急に水位が上がる可能性もあります。
- 近道だからといって危険な状況に変化しやすい場所は避けるようにしましょう。



【注意！】

周辺状況や避難場所・避難経路などの状況などは、常に変わっていきます。いつでも、安全に避難ができるよう、定期的にファミリータイムラインを見直しましょう。

■ファミリータイムラインを作きましょう

Stepに沿って、家族みんなでファミリータイムラインを作ってみましょう。

作成年月日 年 月 日
 災害時、携帯電話が使えなくなる可能性があります。
 避難所の名称 電話番号

| | | |
|---|--|--|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |

ファミリータイムライン

「台風が発生」してから「○○川が氾濫」するまでの備えは万全ですか？
 雨の降り方や、時間（暗くなるのはいつ頃にか？）、状況に合わせて命を守る行動をしよう！

Step3
対象河川を記入しよう

Step4
対象河川(Step3と同じ)と各水位を記入しよう

Step2
避難場所を記入しよう

Step5
「避難行動のヒント」や「やってはいけない危険な行為」を参考に、それぞれの警戒レベルで行うことをアクションシールから選んで貼っていこう

事前の備え

災害への心構えを高める

危険な場所から高齢者等は避難

危険な場所から全員避難

命の危険 直ちに安全確保!

警戒レベル 1

警戒レベル 2

警戒レベル 3

警戒レベル 4

警戒レベル 5

<警戒レベル4までに必ず避難>

徳島県の通行規制の情報は、こちらで確認できます。
徳島県県土防災情報

河川の水位は、こちらで確認できます。
徳島県水防情報 (スマートフォン向け)

徳島県の避難所の情報は、こちらで確認することができます。
徳島県総合地図提供システム

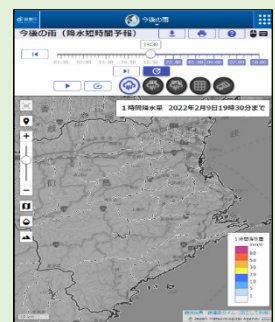
■防災情報を入手しましょう

いざというときに備え、日頃からWebサイトやアプリを使って防災情報を見る習慣を身につけておきましょう。

徳島県水防情報



気象庁(今後の雨)



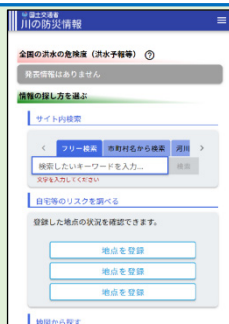
徳島県水防砂防情報マップ



NHK ニュース・防災アプリ



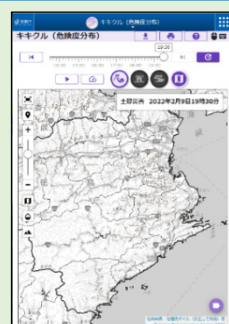
川の防災情報



すだちくんメール



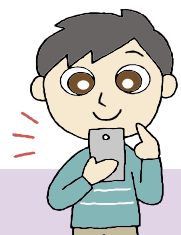
気象庁(洪水キキクル)



防災アプリの活用

いつ起こるかわからない災害に備え、スマートフォンなどの防災アプリを活用しましょう。いざというとき、災害情報をすばやく確認することができます。

防災アプリ 🔍 検索



スマートフォンなどの防災アプリをダウンロードしましょう。



ファミリータイムラインを作ろう!

令和4年 3月発行
 編集・発行 徳島県県土整備部 水管理政策課 水災害対策室
 〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地
 電話 088(621)2661 ファクシミリ 088(621)2870